



Infor LN 企業計画 クラスユーザー ガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	cpclustersug (U8730)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017年12月21日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
クラスタの概要.....	7
第2章 クラスタの概念.....	9
品目別計画および倉庫別計画を有効にするには.....	9
物流所要量計画 (DRP) のサポート.....	10
ローカル製造/購買.....	11
ローカルマスタ計画機能.....	12
第3章 マスタデータ.....	15
倉庫のクラスタ.....	15
クラスタ化計画品目.....	15
計画品目のデフォルト倉庫.....	15
クラスタ化品目の供給ソース.....	16
物流.....	16
購買.....	17
製造.....	17
マルチソーシング.....	17
第4章 クラスタ化品目を計画するには.....	19
ネッティング.....	19
物流計画.....	19
購買計画.....	21
製造計画.....	23
部品表内のクラスタ化構成要素.....	24
第5章 クラスタ内の物流.....	27
クラスタ内の物流.....	27
第6章 クラスタ化品目の有効在庫.....	29
クラスタ化品目の有効在庫.....	29
第7章 まとめ.....	31

クラスタのまとめ.....	31
付録A 用語集.....	33
索引	

文書情報

この文書では、クラスタに関係を供給することでリンクされる倉庫の設定について説明します。これらのクラスタは、企業計画で計画目的の 1 つの単位として使用されます。

本書の概要

本書では、Infor LN の企業計画パッケージでクラスタの概念を用いる方法について説明します。1 つのクラスタは、1 つの地理的エリアを表します。

企業計画は、以下の 3 つの供給源の間でうまくバランスをとりながら、クラスタにおける要求品目の供給を計画します。

1. 現地製造
2. 現地購買
3. 他のクラスタからの移動 (分散)

本書の使い方

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいませうお願いいたします。

クラスタの概要

社内ネットワークは徐々に複雑になってきています。予測、販売、在庫計画、オーダー承認、在庫補充は、そのネットワークのすべてのエンティティで、またはエンティティ間で発生し得ます。これらのエンティティとしては以下のものが考えられます。

- 製造サイト
- 本社
- 地域物流センター
- 分散した販売拠点

企業計画は、クラスタというコンセプトを用いることで、様々なエンティティのすべての業務手順をサポートしています。1つのクラスタは、1つの地理的エリアを表します。以下の例が示すように、クラスタごとに各品目の複数の計画品目を定義できます。どのクラスタにもリンクされていない非クラスタ化品目も表示されます。

- クラスタ: A、B、C
- 品目: RAL END 1
- 計画品目:
 - a. A / RAL END 1
 - b. B / RAL END 1
 - c. C / RAL END 1
 - d. - / RAL END 1 (非クラスタ化品目)

非クラスタ化計画品目は機能的にはクラスタ化計画品目と変わりません。非クラスタ化計画品目は単に地理的エリアのうちの1つを表しているだけです。ロジスティック会社の場所が1つだけしかない場合はクラスタを定義する必要はありません。その場所には単純に非クラスタ化計画品目を使用することができます。

場所別計画をサポートするため、計画プロセスでは各計画品目の要件と供給戦略が個別に考慮されます。

また、各クラスタ化計画品目と非クラスタ化計画品目に固有のオーダー計画ビューおよび品目マスタ計画ビュー (オプション) があり、これらのビューを使用してすべての要件と供給を評価できます。

注意

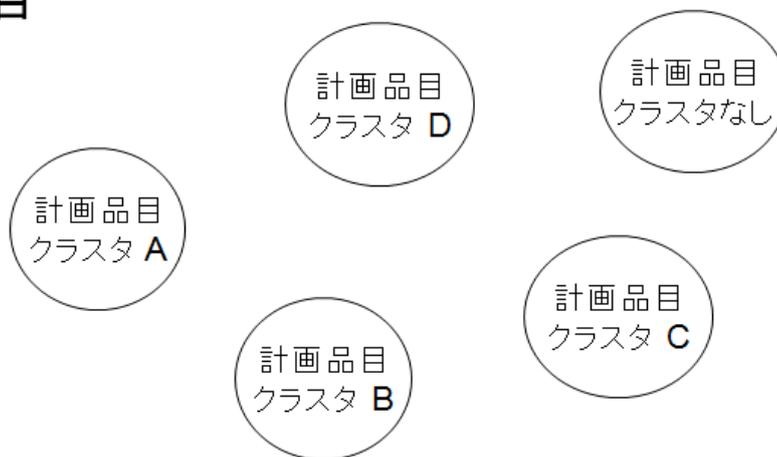
クラスタコンセプトは企業計画でのみ使用されます。倉庫管理、調達、製造といった LN の他のパッケージでは、クラスタは使用されません。

品目別計画および倉庫別計画を有効にするには

クラスタは、特定の地理的エリアに存在する 1 つ以上の倉庫からなるグループを表します。クラスタ (地理的エリア) 別に品目を計画できます。

この場合は、1 つの品目に複数の計画品目を設定できます。これまでは、計画品目が 1 つしかない場合はクラスタを指定せずに、計画品目が複数ある場合はクラスタを指定して定義してきました。今後は、クラスタが指定されている計画品目を「クラスタ化計画品目」と呼び、クラスタが指定されていない計画品目を「非クラスタ化計画品目」と呼びます。

品目



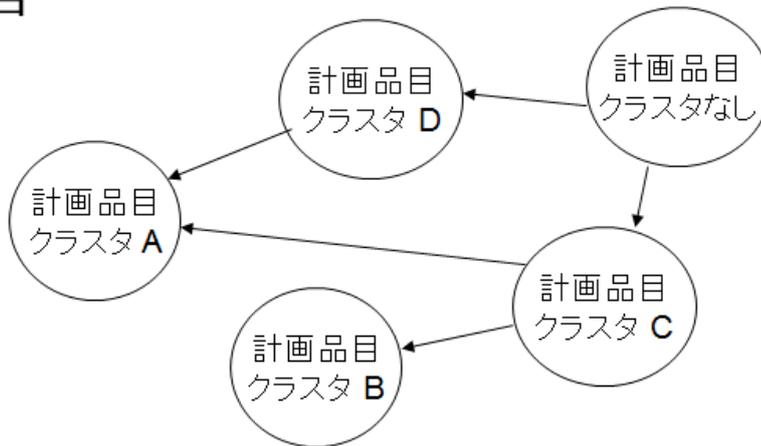
クラスタ化計画品目と非クラスタ化計画品目の間に物流関係を設定できます。この設定は、各倉庫に加え、クラスタ内の倉庫グループといった、さらに総計されたレベルにおける企業計画での物流所要量計画 (DRP) をサポートするものです。

計画レベルで DRP を実行するには、クラスタを使用する必要があります。クラスタ化品目から非クラスタ化品目への方向を含め、すべての方向に物流関係を定義できます。

物流所要量計画 (DRP) のサポート

以下の図は、クラスタコンセプトがどのように物流所要量計画 (DRP) をサポートしているのかを示しています。

品目

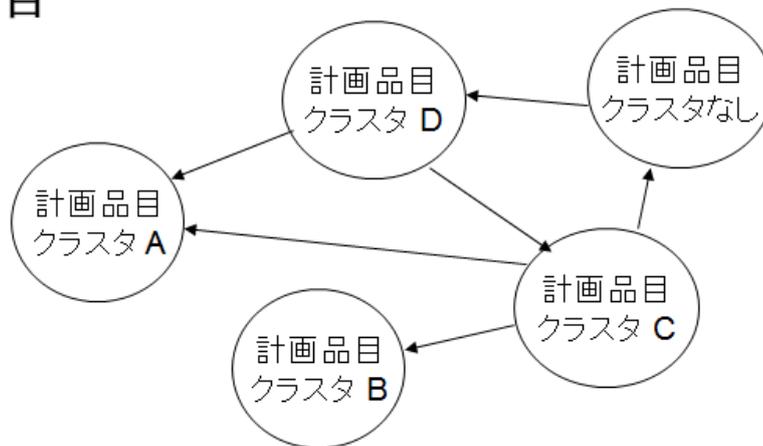


サイクル

クラスタ化計画品目から非クラスタ化計画品目への物流計画を定義することもできます。ただし、この関係ではサイクルは使用できません。フェーズ番号の計算 (cprpd6200m000) セッションを実行すると、LN は自動的に供給関係をチェックし、構造内にループ (サイクル) があればそれを検出して通知します。

以下の図は、供給関係におけるサイクルの例を示しています。

品目



以下の関係は、継続的に依存需要を生成するサイクルを構成しています。

- 非クラスタ化計画品目とクラスタ D
- クラスタ D および C
- クラスタ C と非クラスタ化計画品目

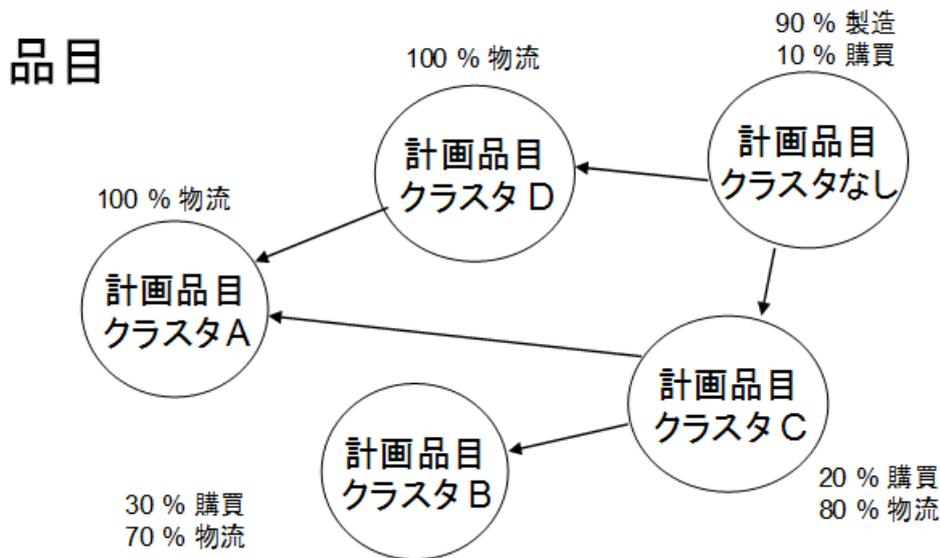
ローカル製造/購買

クラスタ内の計画品目は、物流だけでなく、購買と製造によっても供給できます。この場合、たとえばクラスタ (地域的エリア) 内での地域購買を計画できます。複数ソースからの供給も計画できます。

例

品目の所要数量の 80% が、中央倉庫からクラスタ (地域物流センタ) への物流によって供給され、20% がそのクラスタによって地域で購買されます。

以下の図は、クラスタ計画品目のソーシング可能性を示しています。



各品目に使用できる部品表および工順は 1 つしかないため、複数のクラスタ化品目と非クラスタ化品目にソース製造を使用することはできません。

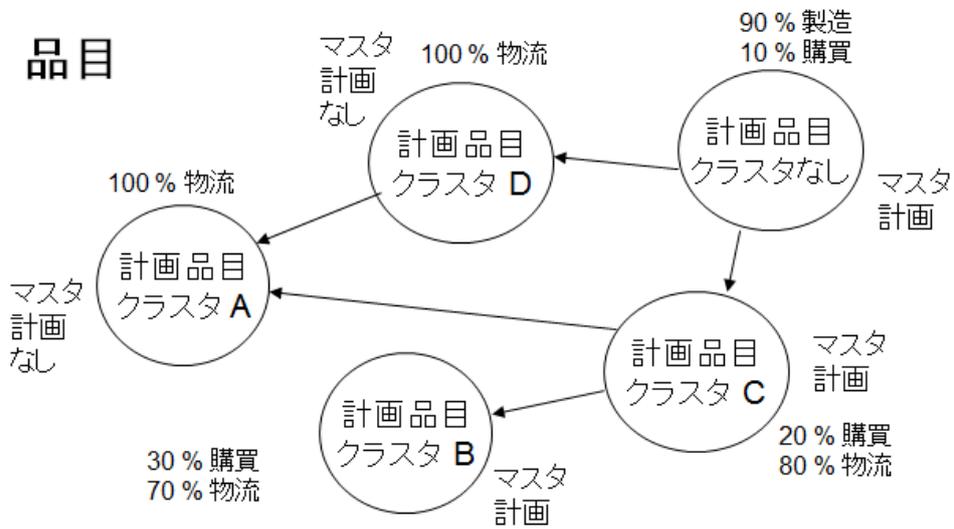
ローカルマスタ計画機能

マスタ計画機能を使用して、予測と在庫計画を実行できます。中央レベルの非クラスタ化品目だけでなく、分散されたクラスタ化品目についてもこれらの作業を行えるよう、LNにはクラスタ化品目向けのマスタ計画機能が用意されています。マスタ計画を使用することで、中央拠点と地域物流センタおよび販売拠点の間で予測、計画、オーダーを総計/分散することもできます。

もちろん、クラスタ化品目のマスタ計画のメンテナンスは必須ではありません。その場合でも、有効在庫 (ATP) 情報はマスタ計画なしで取得できるため、クラスタ化計画品目にも有効在庫チェックは使用できます。

以下の図は、クラスタ化品目の予測および在庫計画をサポートするマスタ計画の使用方法を示しています。

以下の図は、クラスタ計画品目のソーシング可能性を示しています。



注意

マスタベースの計画を使用していなくても、品目のマスタ計画をメンテナンスできます。マスタベースの計画は、クリティカル部品表とクリティカル能力資源表に基づいています。マスタベースの計画の代わりにオーダーベースの計画を使用できます。

倉庫のクラスタ

1つのクラスタは、1つ以上の倉庫、または製造サイト、地域物流センタ、販売拠点といった1つ以上の会社エンティティで構成される1つの地域的エリアを表します。

クラスタはクラスタ (tceмм1135m000) セッションで定義できます。クラスタは、そのクラスタに含まれる倉庫に関連付けられます。

倉庫をクラスタにリンクさせるには、倉庫 (tceмм1112m000) セッションを使用します。1つのクラスタに、[企業計画に含む] チェックボックスがオフになっている倉庫を含めることもできます。オーダ計画およびマスタ計画では、LNはこれらの倉庫の在庫処理を無視します。たとえばこれを利用して、不合格品用の倉庫を指定できます。

クラスタ化計画品目

このクラスタは計画品目コード内のセグメントの1つです。したがって、各クラスタ化計画品目に固有の計画パラメータがあります。計画品目の計画パラメータは品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで定義します。

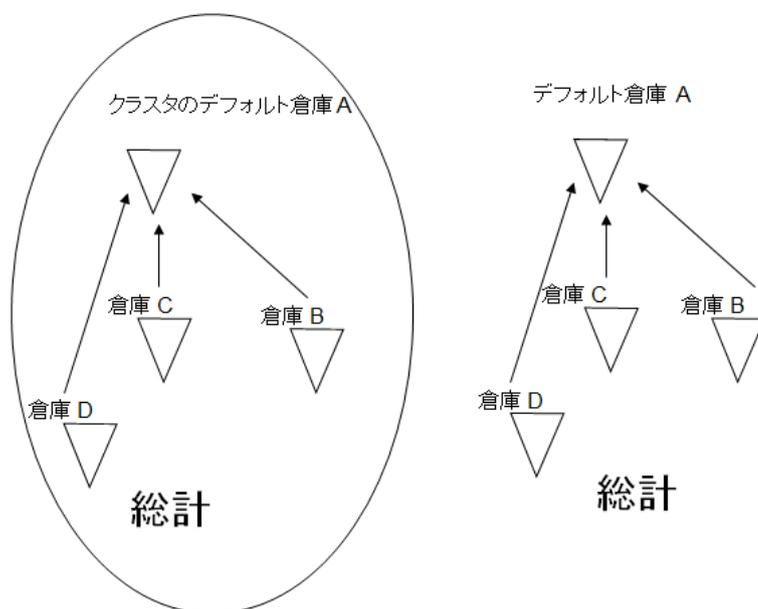
例

- [クラスタ]: USA
- [計画品目]: USA RAL END1
- [デフォルト倉庫]: NY

計画品目のデフォルト倉庫

1つのクラスタに複数の倉庫が含まれている場合、1つの計画品目の計画は常に1つのデフォルト倉庫に総計されます。

以下の図は、このタイプの総計を示しています。



クラスタ化計画品目と非クラスタ化計画品目の両方に使用されるデフォルト倉庫が品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで定義されています。在庫および所要量 (需要) がデフォルト倉庫に自動的に総計されます。計画は常に総計数量に基づいてこのデフォルト倉庫に供給します。

クラスタ化品目の供給ソース

クラスタ化計画品目は、物流、購買、製造によって供給できます。マルチソーシング戦略を定義することもできます。

物流

デフォルト供給ソースが [物流] の場合、クラスタ化計画品目は他のクラスタ内の倉庫から補充されます。物流計画 (DRP) を設定するには、供給関係 (cprpd7130m000) セッションでクラスタ間 (倉庫間) の供給関係を定義する必要があります。DRP 機能はこれらの関係を使用して、そのクラスタを供給するための計画物流オーダーを生成します。

注意

供給関係は倉庫レベルではなく、クラスタレベルで定義してください。企業計画は常に、クラスタ化品目でも非クラスタ化品目でも同じデフォルト倉庫を使用して計画を実行するため、倉庫レベルで供給関係を定義する必要はありません。

購買

実際の供給ソースが [購買] の場合は、外部発注先がクラスタ化計画品目を供給します。これを地域購買と呼びます。

購買計画を設定するには、以下のセッションを使用します。

- 品目 - 購買 (tdipu0101m000)
- 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000)
- 供給戦略 (cprpd7120m000)

クラスタセグメントは企業計画でのみ使用できます。したがって、すべてのクラスタ化計画品目が同一の購買データおよび品目購買取引先情報を使用します。

供給戦略はオプションです。クラスタごとに供給戦略を定義できます。供給戦略によって、計画実行中の発注先選択優先順位が決定されます。

製造

デフォルト供給ソースを [ジョブショップ] に設定した場合、製造オーダがクラスタ化計画品目を供給します。製造計画を設定する上で、以下のセッションが最も重要なセッションとなります。

1. 部品表 (tibom1110m000)
2. 工順作業 (tirou1102m000)
3. クリティカル部品表 (cprpd3120m000)
4. クリティカル能力資源表 (cprpd3130m000)

クラスタセグメントは企業計画でのみ使用されます。したがって、クラスタ化計画品目は非クラスタ製造品目の部品表、工順、クリティカル部品表、クリティカル能力資源表 (BCC) を使用します。オーダ範囲内では、計画工順は部品表と工順を使用して、資材要件および作業を分解します。計画範囲内では、計画工順はクリティカル部品表とクリティカル能力資源表を使用して、資材要件および作業を分解します。

マルチソーシング

クラスタ化計画品目は、物流、購買、製造の組合せなど、複数の供給ソースを持つこともできます。マルチソーシングはソーシング戦略を使用して定義できます。クラスタ化計画品目ごとに個別のソーシング戦略を設定できます。

ソーシング戦略を設定するには、ソーシング戦略 (cprpd7110m000) セッションを使用します。

物流ソーシングの場合のみ、クラスタ固有の物流関係を設定できます。購買および製造には設定できません。したがって計画プロセスでは、非クラスタ化品目とクラスタ化品目のどちらを計画する場合も、常に同じ品目購買取引先情報と部品表および工順が使用されます。クラスタごとに詳細なソーシング戦略を設定できます。

第4章

クラスタ化品目を計画するには

4

ネッティング

LNは、非クラスタ化計画品目とまったく同じ方法でクラスタ化計画品目をネッティングします。企業計画は、総所要量、手持在庫、確定供給に基づいて正味所要量を計算します。次に、企業計画は正味所要量に応じた供給を生成します。

クラスタ内の倉庫は、オーダー計画とマスタ計画から切り離しておくことができます。オーダー計画とマスタ計画から倉庫を除外するためには、倉庫 (tcpcs0503m000) セッションで [企業計画を含む] チェックボックスをオフにします。

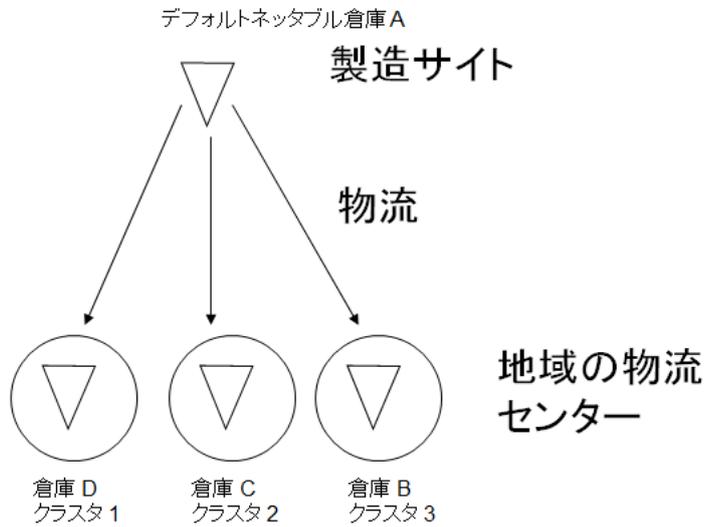
物流計画

物流所要量計画 (DRP) は、計画物流オーダーを使用して、物流チャネル内の所要量と供給のバランスを取ります。物流は以下の方向で計画できます。

- 非クラスタ化計画品目からクラスタ化計画品目へ
- クラスタ化計画品目から非クラスタ化計画品目へ
- クラスタ化計画品目間

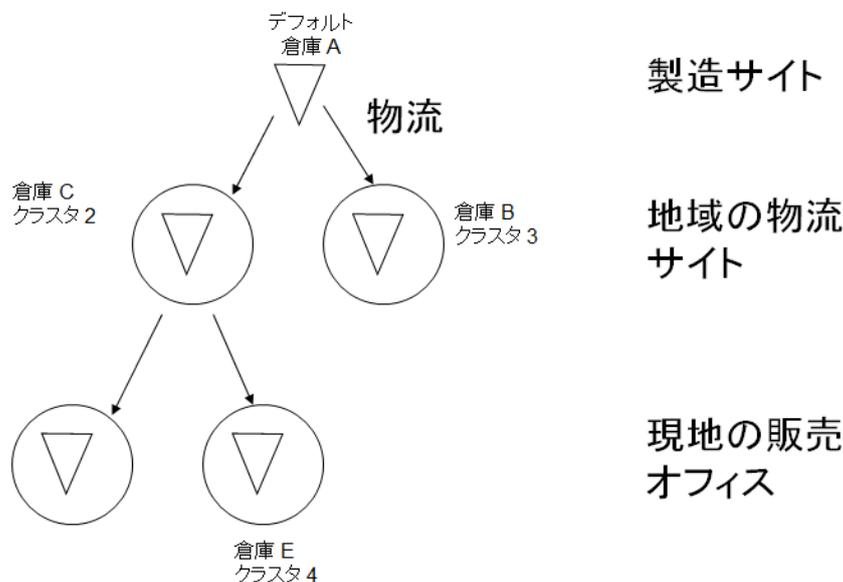
物流関係は 供給関係 (cprpd7130m000) セッションで設定できます。様々な取引ケースがサポートされています。

例 1: 中央から分散倉庫への DRP



地域物流センターが販売オーダー承認を行います。これらの販売オーダーから発生した正味所要量が中央製造サイトに総計されます。これにより、製造サイトは地域の物流センターを補充します。販売オーダーではクラスターは使用されていませんが、企業計画で販売オーダーラインの品目/倉庫の組合せが正しいクラスターにリンクされます。

例 2: 中央から分散倉庫へのマルチレベル DRP



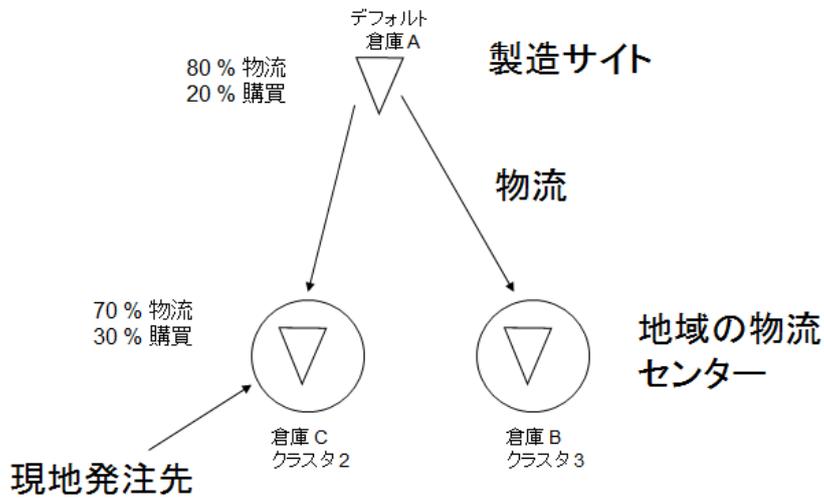
地域販売拠点が販売オーダー承認を行います。計画プロセスがその所要量を物流チャンネルを通じて中央製造サイトに総計します。必要に応じ、製造サイトが地域物流センタを補充します。その後、地域物流センタが地域販売拠点を補充します。

購買計画

クラスタ化計画品目の購買計画プロセスは、非クラスタ化計画品目の購買計画プロセスと同じです。これらの品目はどちらも同じ購買取引先情報を使用するためです。供給戦略のみ、クラスタ化品目だけの供給戦略を定義できます。ただし、クラスタに基づいて発注先を選択する(地域購買)場合、取引先の「出荷元」役割で倉庫を使用することができます。

ここで発注先に特定の倉庫を指定すると、その発注先は指定された倉庫にしか商品を納入できません。そのため、購買計画処理は、デフォルト倉庫と「出荷元」役割の倉庫が同一の計画品目が受け渡される場合のみ、その発注先を考慮に入れます。

例



品目の70%が、中央製造サイトからの物流によってクラスタ2に供給されます。しかし、このクラスタは同一品目を地域でも購買します(供給の30%)。この品目にはソーシング戦略が定義されています。この品目は別の発注先から中央で購買することもできます。これを以下の設定でモデリングできます。

品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで、以下のフィールドを設定します。

地域購買 (計画品目) の設定

フィールド	非クラスタ化品目	クラスタ化品目
計画品目	JOSCOM	USA JOSCOM
クラスタ	(なし)	USA
デフォルト供給ソース	製造/購買	物流
デフォルト倉庫	DUB (ダブリン)	NY (ニューヨーク)

取引先 (tccom4500m000) セッションからアクセスできる 出荷元取引先 (tccom4121s000) セッションで、以下のフィールドを設定します。

地域購買 (発注先) の設定

フィールド	USA に割り当てる発注先	非クラスタ化倉庫に割り当てる発注先
発注先	SUP000002	SUP000003
倉庫	NY (ニューヨーク)	DUB (ダブリン)

これらの設定にしたがい、発注先 SUP000002 はニューヨークのクラスタおよび倉庫にのみ納入できます。

発注先 SUP000003 はダブリンの倉庫にのみ納入します。

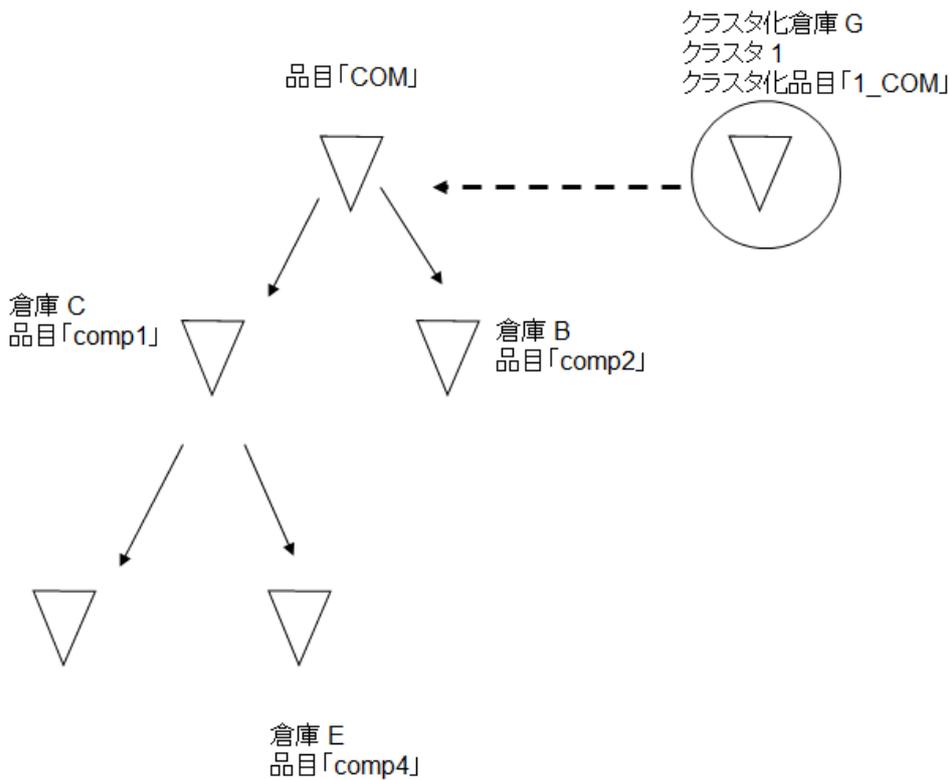
ニューヨークの販売拠点で販売オーダーが承認された場合、ニューヨークの倉庫が関連付けられている発注先と、倉庫が関連付けられていない発注先のみが、計画実行によって自動的に含まれます。

このケースでは、計画実行でクラスタ化品目 USA JOSCOM の計画時に考慮されるのは SUP000002 だけです。計画実行によって、この計画購買オーダーには、ニューヨークのクラスタ化倉庫が選択されます。この計画購買オーダーを購買部署に転送できます。

その後、商品がクラスタ化倉庫に入庫します。

製造計画

クラスタ化品目のデフォルト供給ソースが [ジョブショップ] である場合、計画実行によってそのクラスタ化品目とクラスタ化倉庫の計画製造オーダーが作成されます。ただし、資材と作業の分解は、一般部品表および工順にしたがって進められます。マスタ計画の場合、計画処理は一般クリティカル部品表およびクリティカル能力資源表を使用して、依存需要をクリティカル資材および能力に分解します。



クラスタ化品目には固有の(クリティカル)部品表も(クリティカル)工順もありません。LNがクラスタ化品目とクラスタ化倉庫の計画製造オーダーを作成します。この計画製造オーダーはジョブショップ管理に転送できます。クラスタ化倉庫が完成品を受取ります。LNはすべての在庫処理をこのクラスタ化品目に総計します。

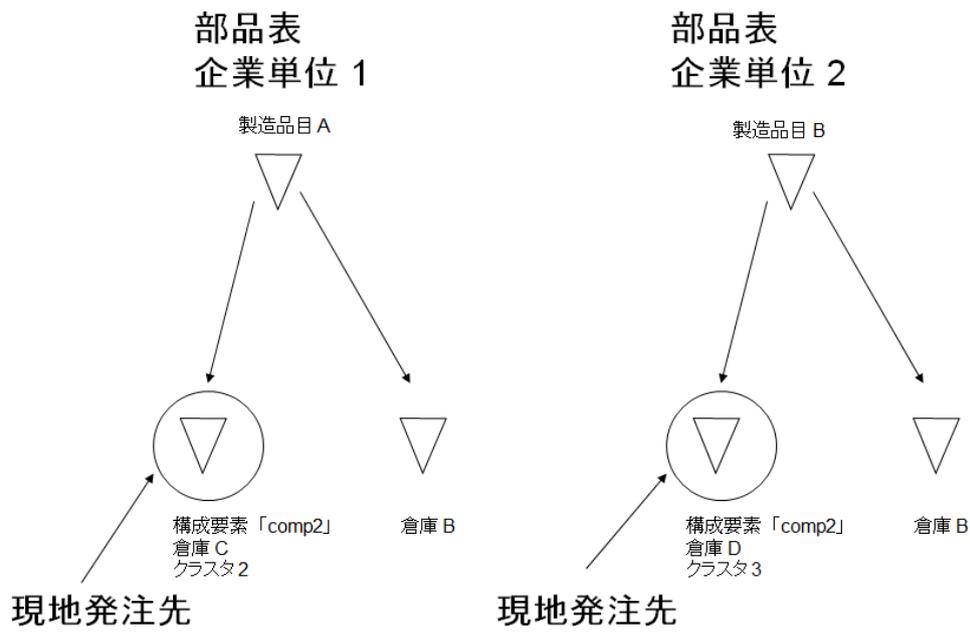
部品表内のクラスタ化構成要素

2箇所の異なる製造サイトで製造される2つの品目の部品表に同一構成要素が含まれているときに、その構成要素を使用する製造品目によっては、その構成要素を異なる発注先から購買したい場合があります。

この状況は以下の設定を使用してモデリングできます。

- 各製造サイトにクラスタを定義します。
- 品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションで、構成要素をクラスタ化計画品目として定義します。クラスタごとに1つのクラスタ化計画品目を設定します。クラスタにリンクしている倉庫の中から1つを選択し、それをそのクラスタ化品目のデフォルト倉庫として指定します。
- 部品表 (tibom1110m000) セッションで、部品表内のその構成要素のラインに、クラスタ化計画品目のデフォルト倉庫と同じ倉庫を入力します。
- 出荷元取引先 (tccom4121s000) セッションで、その構成要素の地域発注先を同じ倉庫にリンクします。

計画処理を実行すると、LNがクラスタ化計画品目ごとに適切な発注先を自動的に選択します。



1つのメカニズムで複数の似たような取引ケースをサポートできます。

クラスタ内の物流

企業計画は常にクラスタ化計画品目のデフォルト倉庫に基づいて需要と供給を計画します。そのため、販売オーダーラインに他のクラスタ倉庫を入力した場合でも、LNは企業計画が準拠しているデフォルト倉庫の計画オーダーを生成します。

クラスタ内での倉庫間の商品の移動には、倉庫管理を使用する必要があります。このパッケージの供給システムが実行レベルで直接、倉庫移動を生成します。

ジョブショップ管理でジョブショップ補充に使用できる供給システムは以下のとおりです。

- 時間フェーズ別オーダーポイント (TPOP)
- オーダー管理/個別供給
- カンバン

クラスタ化品目の有効在庫

クラスタ化品目には、次の 3 タイプの有効在庫の機能を使用できます。

- 標準確約可能在庫
- チャンネル確約可能在庫
- ファミリ確約可能在庫

計画品目の有効在庫機能は、品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションの [確約可能在庫] タブで設定します。

クラスタ化品目の場合、構成確約可能在庫チェックと確約可能在庫能力チェックの使用が制限されます。ソース製造で供給できるクラスタ化計画品目と非クラスタ化計画品目は 1 つだけです。複数のクラスタにソース製造がある場合、システムで同じ能力と構成要素が複数のオーダーに確約されるので (各クラスタに 1 回ずつ)、確約可能在庫機能により誤った結果となります。これは、クラスタ化品目には固有の部品表、クリティカル部品表、工順作業、クリティカル作業表を割り当てることができないためです。

企業計画がクラスタ化品目に対して確約可能在庫能力を確保し、チェックする場合、それと同じ能力をクラスタ化品目と非クラスタ化品目に一度ずつ確約できます。

クラスタ化品目に物流オーダーを分散する機能はありません。したがって、クラスタ化品目にソース物流がある場合、LN はチャンネル有効在庫を自動的に計算しません。クラスタ化品目の場合、チャンネル有効在庫をチャンネルマスタ計画でメンテナンスするためには [許容需要] フィールドにマニュアルで数量を入力する必要があります。

クラスタのまとめ

クラスタは、特定の地理的エリアに存在する 1 つ以上の倉庫を表します。したがってクラスタは、製造サイト、地域物流センタ、地域販売拠点といった、会社内の個別のエンティティとみなすことができます。

クラスタごとに計画品目を設定できます。これらの計画品目をクラスタ化計画品目と呼びます。クラスタ化計画品目を使用して、品目クラスタごとの組合せを計画できます。クラスタ化計画品目は、物流、購買、製造によって供給できます。ただし、購買と製造の場合は機能が制限されません。

計画処理は常にクラスタのデフォルト倉庫の総計レベルで実行されます。クラスタ内の他の倉庫の補充を管理するには、Infor LN 倉庫管理で利用可能な供給システムを使用する必要があります。

クラスタ化品目のオーダ承認には、標準有効在庫、構成要素、確約可能在庫能力、ファミリー確約可能在庫、チャンネル確約可能在庫を適用できます。ただし、クラスタ化品目には固有の(クリティカル) 部品表と能力資材表がないため、構成要素と確約可能在庫能力の使用は制限されます。

確約可能在庫能力

顧客オーダーに関連する計画品目の追加生産の計画期間で使用可能な資源の能力

確約可能在庫能力は確約可能在庫の計算で使用されます。

索引

- 有効在庫
 - クラスタ化品目, 29
 - 確約可能在庫能力, 33
 - クラスタ
 - サイクル, 10
 - ローカルマスタ計画機能, 12
 - ローカル製造/購買, 11
 - 計画品目, 15
 - 倉庫の, 15
 - 物流所要量計画 (DRP) のサポート, 10
 - クラスタ化品目
 - クラスタ化品目の供給ソース, 16
 - ネットィング, 19
 - 購買計画, 21
 - 製造計画, 23
 - 物流, 27
 - 物流計画, 19
 - 有効在庫, 29
 - 物流計画
 - クラスタ化品目, 19
 - 製造計画
 - クラスタ化品目, 23
 - 購買計画
 - クラスタ化品目, 21
 - 企業計画
 - クラスタ, 7
 - クラスタ計画
 - 品目別および倉庫別, 9
 - 品目計画
 - 品目別および倉庫別, 9
 - 倉庫計画
 - 品目別および倉庫別, 9
 - 物流所要量計画 (DRP), 10
 - サイクル
 - クラスタ化計画品目, 10
 - 倉庫
 - 計画品目のデフォルト倉庫, 15
 - 倉庫のクラスタ, 15
 - 計画品目
 - クラスタ計画品目, 15
 - 計画品目のデフォルト倉庫, 15
 - 供給ソース
 - クラスタ化品目, 16
 - ネットィング
 - クラスタ化品目, 19
 - 物流
 - クラスタ内, 27
-
